

公立陶生病院

病院長名 味岡 正純

所在地 〒489-8642
愛知県瀬戸市西追分町160番地

交通案内 名鉄瀬戸線「新瀬戸駅」下車、東へ徒歩5分。
名鉄瀬戸線「瀬戸市役所前駅」下車、西へ徒歩3分。
愛知環状鉄道「瀬戸市駅」下車、東へ徒歩5分。



病院の特徴

当院は昭和11年に設立され、現在30診療科、633床を有する総合病院で、地域がん診療拠点病院、地域中核災害拠点病院、地域医療支援病院、救命救急センターの指定を受けた、尾張東部医療圏の急性期医療を担う公立の基幹病院です。

又、当院は地域の皆さんに、信頼される医療の提供を目指しています。「いのち」「こころ」「つなぐ」を行動指針とし、「地域の患者さんを支える病院」「患者さん主体の医療」「各科で連携したサポート体制」を目指し、先進医療を取り入れ、地域に寄り添い支え続けています。

研修の特徴

当院は、昭和57年に臨床研修病院の指定を受けて以来500名あまりもの研修修了者を輩出してきた総合病院です。

当院の研修は①早期に手技が身につく「屋根瓦方式と陶生魂」②アカデミックマインドを持った医師の養成「アカデミックサポートが強い」③他職種・他業種とのチーム医療「One team対応」の3つの特徴があります。

救急外来では年間約22,000人の患者、6,000台以上の救急車を受け入れており、急性期診療を十分経験することが可能です。

また、365日運営の院内保育、アクセス良好の研修医宿舎等の働きやすい環境も整っています。



専門研修／後期研修

内科・外科・小児科で基幹プログラム、その他は大学病院の連携プログラムとして選択が可能であり、初期研修終了後はそのまま専門研修を行うことができ、実務的な研修ができます。

メッセージ

指導医（プログラム責任者 中島 義仁）

初期研修の2年間は、医師としての基盤を築く重要な時期です。当院では、ひとつ上とひとつ下を指導する、いわゆる「屋根瓦方式」を実践しています。全科にわたる十分な症例を、熱心な上級医・指導医のもと、救急診療・感染対策・医療安全・緩和ケアなどチーム医療の切り口で経験できます。基本から専門まで早い段階から実戦で手技を経験させてもらえます。後輩を育てたいという雰囲気長い研修制度の変遷の中で脈々と引き継がれています。救急外来や各診療科で貴重な症例に遭遇した時には学会発表へつなげるように指導しており、研修医のうちからレベルが高い発表力が身につきます。臨床のトレーニングも十分に出来て、臨床研究や学会発表等のアカデミックサポートが充実している病院であるため、日常臨床で遭遇する疑問点・問題点に対する自己解決能力を身につけることが出来ます。是非一度当院にお越しになり、充実した研修制度とイキイキと活躍する研修医たちを見に来てください。



初期研修医（横山 翔大）

研修医として1年半、陶生病院で働いて強く感じられたのは医療教育が特に実践的で手厚いということです。どの分野においても水準以上の医療が学べ、興味のある分野では上級医が積極的に実践を積ませてくれ、同性代より一歩も二歩も先に進ませてもらえます。研修医の期間に求めるものは、今の風潮でかなり人それぞれになってきていますが、そんな中でより実践的に医療を学びたい人・周囲に刺激されながら成長したい人にはこの病院は特に勧められると思います。実りある研修医期間を過ごしたい人は、ぜひ一度見学に来て見て下さい。



初期研修医（小山 知慶）

今、貴方が成りたい医師像はあるでしょうか。我々陶生病院はこの問いに対しまだはっきりと答えられない人に対しておそらく満足の行く答えを示すことの出来る病院です。なぜならば当院は縦向きの距離感が非常に近いからです。上の先生方は年齢に問わず活気に溢れ、研修医の指導に親身になってくださいます。これまで皆さんは学生として多くの人に会ってきて、何を大事にして生きていかなどはもう分かっていることでしょう。これから社会に出る皆さんがまずすべきことは自分が成りたい理想の医師像に出来る限り近い人を見つけて、見て、話し、真似をすることが大事になっていきます。是非、当院を成りたい者になるための架け橋として利用してください。



募集要項

採用実績	2021年度 15人 ・ 2022年度 15人
給与／月額	1年次 294,000円 ・ 2年次 323,400円 （※手当含まず）
当直回数／月	約5回 宿直明けは、朝から職務免除あり
当直料／回	1年次 18,000円 ・ 2年次 27,000円
その他	研修医宿舎あり 学会参加費支給有り（規定による）
応募連絡先	担当者 研修管理室
	電話番号 0561-82-5101 内線4420
	Eメール kenshu@tosei.or.jp